



小泉山の山開きを盛大にお祝い 第24回 小泉山体験の森山開き

6月7日、小泉山体験の森の山頂で、今年で24回目となる山開きが開催されました。

小泉山体験の森は、小泉山体験の森創造委員会と市教育委員会がパートナーシップで整備しており、より多くの方々に親しまれ、活用してもらえることを願って毎年山開きを開催しています。

当日は、約250人の参加者が集まり、東部中学校吹奏楽部の演奏、「オカリナ そらの会」のオカリナ演奏、豊平小学校児童の発表や昔話の語りなどのイベントを楽しみました。



白いイチゴの実がなってくれたらいいな♪ 市内保育施設等に白イチゴの苗を寄贈

6月2日、市内事業者「よつ葉セラピー」の小林妙子さんから市内公立・私立保育施設など19施設に対して、白イチゴの苗が寄贈されました。

当日は、各保育施設を代表してみどりヶ丘保育園で贈呈式が行われ、年長児および年中児19人に白イチゴの苗が手渡されました。

参加していた児童からは、「白イチゴを植えるのが楽しかった」や「食べるのが一番楽しみ」など白イチゴの実を楽しみにする声が聞こえました。



農業×観光を再生のキーワードとして ハケ岳農業大学校が「ハケ岳ガーデンプロジェクト」を始動

6月13日、ハケ岳農業大学校において、同校再生プランの発表および再生プラン第1弾として敷地内の約10ヘクタールの休耕地を利用した広大な花畑「ハケ岳ガーデンプロジェクト」のお披露目会が行われました。

同校は、令和6年4月より新理事長に就任した南壮一郎氏のもと、新たな経営体制に移行し、加工場の再開や直売所の営業再開と直営化などを実施しており、農業に観光を組み合わせた「アグリツーリズム」を再生のテーマとして掲げて、新しい学校モデルを作ることを目指しています。

今後、同校の実習生も、花畑作りに携わりながら、農業やマーケティングへの学びを深めていけるとのこと。

花畑は、16種類の種を混ぜたワイルドフラワーやネモフィラなど様々なエリアに分かれており、広大な花畑を楽しめます。今期の営業は9月28日までを予定しています。



砂防堰堤（さぼうえんてい）の完成と災害の記憶を後世に伝えるため

下馬沢川災害復旧工事・高部砂防堰堤完成式典および講演会

5月25日、茅野市宮川高部地区に建設された砂防堰堤前において、下馬沢川災害復旧工事・高部砂防堰堤完成式典が開催されました。

式典には、国・県・市の関係者、高部区や工事の請負業者など約60人が出席しました。式典では、災害復旧の一連の工事や完成した砂防堰堤（幅116メートル、高さ12メートル）が紹介され、災害の記憶を後世に伝え、防災意識の高揚を図るために建立された災害伝承碑の除幕式が行われました。

また、式典の前には市役所8階大ホールで、表彰式および国土交通省の草野砂防部長による講演会が行われました。

表彰式では災害復旧に務めた建設業者や、自主避難に努め、人的被害を未然に防いだ高部区に感謝状が贈られました。



地域の子どもたちに体験や遊びの場を提供 第41回茅野市こどもまつり

6月1日、茅野市民館およびベルビアの2カ所を中心に、第41回茅野市こどもまつりが開催されました。

茅野市こどもまつりは、子どもたちが、たくましく、やさしく、夢のある子どもに成長することを願って、地域の子育て支援に関わる関係者が一堂に会し、0歳～18歳の子どもに体験や遊びの場を提供するイベントです。

当日は、市内外から約1400人が参加しました。参加した方からは「子どもたちの喜ぶ笑顔が見られてよかった」など、茅野市こどもまつりを楽しむ声が聞こえました。



水防意識の向上・防災意識の醸成を目指して 茅野市水防・土砂災害訓練

6月1日、北山小学校校庭で、令和7年度 茅野市水防・土砂災害訓練が開催されました。

当該訓練は、水防技術の向上や水防体制の充実、土砂災害に対する警戒避難体制の強化及び住民の防災意識の醸成を目的として、毎年、出水の時期に実施されています。

当日は、自主防災組織（北山地区）、消防団や地域住民など約150人が参加し、水防工法講習会（土のう作製や積土のう工法の実施など）や避難所設営訓練に取り組みました。